

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	文京区放課後等デイサービスロード			
○保護者評価実施期間	R7年1月14日 ～ R7年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R7年1月14日 ～ R7年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備	・ 充分な広さのプレイルーム・個別スペース(カームダウン)・トイレ・更衣室が完備されている。 ・ 視覚的な情報（手順書）を置き気づきを促す手立てがある。	・ 同文京区内の福祉センター江戸川橋の場所を活用を継続する。 ・ 試行錯誤しながら、動線がスムーズになる基本レイアウトを確立しプログラムに取り組みやすい環境つくる。
2	適切な支援の提供・保護者への説明等	・ 5領域の視点をを用いたアセスメントを行い、個別支援計画を立て、定期的なモニタリングを実施し、保護者への説明を定期的に行っている。 ・ 子どもの意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえた意思決定支援を行っている。 (子どもの意思の尊重)(分かりやすい情報の提供)(選択肢の提	・ より保護者に対して、今必要な力、今後必要になる力等、利用者の人生の見通しを持ちやすいように説明の仕方を工夫し、より保護者と密な連携を図れるようにする。 ・ 将来を見通したお仕事体験等で企業と連携を図り、色々な選択肢の提示に努める。
3	業務改善	・ ケース会議、委員会、各種会議にて業務の確認はもちろんのこと意見交換の機会を設けている。 ・ 必要な研修、地域連携機会に積極的に参加する機会を作っている。 ・ 法人内の事業所に情報収集をして様々な業務遂行方法の検討を図っている。	・ ICTやAI、情報共有ツールを用いて、より円滑な業務遂行を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時の対応	・ 各種マニュアルはあるが、保護者への周知や職員間での情報の共有が不足している。 ・ 事故、緊急時、感染対応等が発生した際、職員がマニュアルを活用し対応出来るか不明な点がある。	・ シミュレーション訓練の実施 ・ 定期的なマニュアルの見直しの実施 ・ 保護者への周知の為、見やすい、分かりやすい、活用しやすいリーフレットを作成し、保護者との共通認識を持つ。
2	適切な支援の提供・保護者への説明等	保護者同士の交流の機会や家族が参加できる研修機会の提供が不十分。	・ 気軽に交流できる機会の設定や卒後のイメージができるように情報開示機会をどのようにしていくのが良いのか検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 文京区立放課後等デイサービスロード

公表日 R7年4月30日

利用児童数

27

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	1	とても明るくのびのびと過ごせる空間だと思います	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2	0	0	・その日によって、いろんな特性の子が来るので頭数では足りていても、不足していたりしないかなど職員さんが心配です。 ・目の行き届いた配置だと思います。	・ご心配いただきありがとうございます。今後ボランティア等の受入れを含め人の目を増やしていけたらと思っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	2	0	0	・おかげさまで毎日楽しんでいます。 ・とても良く見て頂いていると思います。 ・なかなか難しい所ですが、チャレンジして欲しい気持ちと子どもの案が面白いという考え方の擦り合わせに悩みますが…成長を感じる事ができる専門性ある支援を今後ともきたいします。	お子様の成長をご本人/親御さんにも感じていただける様、引き続き支援させていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1	0	2	様々なプログラムを提供していただき、とても楽しんでいる様です。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2	0	2	・週末外出やイベントが増えたらと思います。	・長期休みを活用した企画を検討中です。また地域で楽しみ発見等を一緒にできたらと思っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	0	9	まだ利用が短いのでわかりません。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	1	8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	1	10		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0	いつもメールや電話での確認ありがとうございます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	1	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2	0	6	・まだ事故を起こしていないので不明です ・まだそのようなケースが起きていないのでわかりませんが、何かあると電話やメールをくださるので、このようなケースが起きた場合も心配していません。	引き続き、安心していただける様速やかな連絡に努めて参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 文京区放課後等デイサービスロード

公表日 R7年 4月 30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	8		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	8		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			